

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	令和3年5月25日 北信地域振興局
横断的な課題	若者定着のための雪に強い故郷(ふるさと)暮らしの推進					
地域重点政策	若者定着のための雪に強い故郷暮らしプロジェクト					

実施機関	北信地域振興局	担当課	所属	企画振興課(林務課・北信保健福祉事務所)
事業名	雪国の生活を支える公共交通機関・医療等の生活基盤の整備		電話	0269-23-0201
			E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

事業の概要	目的 (目指す姿)	利便性の高い地域公共交通の検討や野生鳥獣被害対策の実施等により、生活基盤の維持・確保を目指すとともに、地域の健康課題を解決するために、「減塩」と「地元野菜と果物の摂取」に取り組むキャンペーンを実施し、北信地域の健康づくりと地産地消、地元農産物の普及を促進する。		
	現状と課題	・人口減少や高齢化等により手入れがされない山と里の境界線が曖昧になり、野生鳥獣による農林業への被害、人身被害への不安が深刻。 ・収穫や伐採がされない柿の木の放置がツキノワグマを集落内に誘引する要因となっている。 ・長野県は食塩摂取量が全国で男性3位、女性1位である。北信地域は脳卒中の年齢調整死亡率が県平均と比べて高く、減塩の普及啓発が必要である。また、若年者の野菜摂取量は減少傾向にあるため、「地元の野菜と果物の摂取」と「減塩」を通年を通して普及啓発していく必要がある。また、地域に広く普及していくためには、保健福祉事務所だけでなく、市町村をはじめ、関係機関・団体との連携し、若い時頃から普及していくことが必要である。		
	内容 (変更後の内容)	【野生鳥獣に負けない地域づくり】 ・集落周辺に放置されている柿を伐採する技術を習得するための講習会を実施。 ・下高井農林高校生、行政担当者等を主な対象とした野生鳥獣の生態を学ぶ学習会を実施し、野生鳥獣の習性や被害対策の基礎的知識の習得するとともに、放置された柿を収穫し被害対策を実践。 【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】 ・市町村、保育所、学校、給食施設及び3つの星レストラン等、関係機関・団体の協力を得て、キャンペーンを実施している。今後、若年層に向けたさらなる周知を行うため、「減塩」「野菜摂取増加」の実践を促すためのポスター・リーフレットを作成し、市町村をはじめ、保育園や学校施設等に配布する。 【北信地域公共交通広域調整検討会議】 ・管内市町村の交通課題を把握、検討する地域公共交通研究会を開催。		
	事業期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月		

事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考
事業費等	野生鳥獣に負けない地域づくり事業	・野生鳥獣に関する学習会の開催 ・柿の木伐採講習会 ・柿の実収穫	105,001	
	ひくシオたすベジ北信州キャンペーン	「ひくシオたすベジ北信州」の普及啓発のポスターと、若年者の「減塩」「野菜摂取増加」の実践を促すためのリーフレットの作成・配布	149,490	
	北信地域公共交通広域調整検討会議	地域公共交通研究会の開催	0	
			254,491	

	成果指標	目標値	成果	達成状況
指標及び達成状況	野生鳥獣の生態や被害対策に関する知識の向上に係る満足度	参加者の満足度6割以上	アンケートを行った参加者(25名)が講演内容を「興味深かった」と回答	○ 達成
	減塩と野菜摂取増加の実践を促すためのポスター及びリーフレットの配布先数	市町村・保育園・学校施設・関係機関・団体(200)へ配布	市町村・保育園・学校施設・団体(200)作成、配布	● 一部達成
	北信地域公共交通研究会の開催	研究会を1回以上開催	令和2年度中に1回開催	○ 未達成
事業実績・成果	<p>【野生鳥獣に負けない地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会・学習会の開催が各1回減となったが、開催状況をマスコミに取り上げられたことにより、クマの被害対策について広く普及が図られた。また、実施後、他地区の区長から要望があり、来年度、市町村と連携し被害対策の支援を行う予定。 <p>【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体等の協力を得て、減塩と野菜摂取増加の実践を促すために、ポスター及びリーフレットを作成した。 <p>【北信地域公共交通広域調整検討会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中管内市町村の交通課題を把握、検討する地域公共交通研究会を開催。 ・中野市及び山ノ内町が共同で地域公共交通計画の策定に着手することになった。 			
今後の方向性	<p>【野生鳥獣に負けない地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業は終了するが、引続き市町村と連携し被害対策の普及を推進する。 <p>【ひくシオたすベジ北信州キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・団体等の協力を得て、ポスター及びリーフレットを活用し、減塩と野菜摂取増加の実践を促していく。 <p>【北信地域公共交通広域調整検討会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き検討会を開催し、地域交通カルテ(令和1年度交通政策課作成)の診断結果を踏まえた対応策の検討等をしていく。 			